

問題1：嘔吐について誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 嘔吐は胃の内容物を排出する反射である。
- ② 嘔吐の前にはよだれを垂らすなど様々な前兆がみられ嘔吐最中では腹部の収縮がみられる。
- ③ 嘔吐の原因は様々であり消化器疾患や肝疾患、腎疾患でもみられる。
- ④ 嘔吐によって脱水、電解質異常がみられることはない。
- ⑤ 嘔吐が持続した場合逆流性食道炎を続発するリスクが生じる。

問題2：吐出について誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 吐出は食道の内容物を排出する反射である。
- ② 吐出時には誤嚥による肺炎が生じる事がある。
- ③ 吐出の治療には薬物療法が有効である。
- ④ 吐出の原因は食道の通過障害や食道の拡張、食道運動機能障害などがある。
- ⑤ 吐出は苦しようにするというよりも吹き出すように反射的に吐く。

問題3：嘔吐、吐出について正しいものを1つ選びなさい。

- ① 巨大食道症の犬では直立姿勢より立位での給餌が望ましい。
- ② 入院中の動物が嘔吐物で汚れてしまった際は、すぐに全身シャンプーを行い常に清潔な状態を保つ。
- ③ 犬や猫の嘔吐は健康でも日常的にみられるので、入院動物の嘔吐はすぐに獣医師に連絡をする必要はなく、まずは観察する事が重要である。
- ④ 動物が嘔吐をしたときには、吐しゃ物には大量の細菌やウイルスが含まれている可能性があるので取り扱いには十分注意する。
- ⑤ 嘔吐が長期化すると胃酸の喪失に伴う代謝性アシドーシスを引き起こす。

問題4：下痢について誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 1回当たりの糞便量が多く回数が正常であるのは小腸性の下痢である。
- ② 黄色い脂肪便がみられるのは小腸性の下痢である。
- ③ しぶりがみられ、1回当たりの糞便量が少なく回数が多いのが大腸性の下痢である。
- ④ 重度の下痢を示す動物では脱水や電解質異常に注意する。
- ⑤ 大腸性の下痢では嘔吐を伴う事があり食欲は普通または減少する。

問題5：血便について誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 黒色便（タール便）は小腸からの出血を示す。
- ② 赤色便（鮮血便）は大腸からの出血を示す。
- ③ 血便により貧血が起こっている場合程度に関わらず直ちに輸血すべきである。
- ④ 下痢や血便は直ちに除去し、使用したリネン類は再利用せず廃棄する。
- ⑤ 血便の原因は局所的な損傷、びまん性の炎症、消化管腫瘍がある。

問題6：慢性の下痢をもつ動物に対し、看護援助する際の注意点で誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 汚れがひどいときは獣医師に許可をとり下痢の付着部位だけをシャンプーし完全に乾かすことが原則である。
- ② 肛門周囲の皮膚に水分を防ぐためのワセリンを塗った。
- ③ 食べてくれることが大切なので嗜好性の高いフードを与えた。
- ④ 脱水を起こしている場合は輸液療法が選択されるが、定期的に脱水の状態を観察し輸液速度が適正であることを確認する。
- ⑤ バイタルサイン、脱水の評価、粘膜の色調、浮腫、腹水の有無を確認する。

出問参考図書

動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野 臨床動物看護学 総論・各論(インターズー社)

動物看護コアテキスト 動物看護の基礎 5 (ファームプレス社)

問題1：嘔吐について誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 嘔吐は胃の内容物を排出する反射である。
- ② 嘔吐の前にはよだれを垂らすなど様々な前兆がみられ嘔吐最中では腹部の収縮がみられる。
- ③ 嘔吐の原因は様々であり消化器疾患や肝疾患、腎疾患でもみられる。
- ④ 嘔吐によって脱水、電解質異常がみられることはない。
- ⑤ 嘔吐が持続した場合逆流性食道炎を続発するリスクが生じる。

問題2：吐出について誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 吐出は食道の内容物を排出する反射である。
- ② 吐出時には誤嚥による肺炎が生じる事がある。
- ③ 吐出の治療には薬物療法が有効である。
- ④ 吐出の原因は食道の通過障害や食道の拡張、食道運動機能障害などがある。
- ⑤ 吐出は苦しようにするというよりも吹き出すように反射的に吐く。

問題3：嘔吐、吐出について正しいものを1つ選びなさい。

- ① 巨大食道症の犬では直立姿勢より立位での給餌が望ましい。
- ② 入院中の動物が嘔吐物で汚れてしまった際は、すぐに全身シャンプーを行い常に清潔な状態を保つ。
- ③ 犬や猫の嘔吐は健康でも日常的にみられるので、入院動物の嘔吐はすぐに獣医師に連絡をする必要はなく、まずは観察する事が重要である。
- ④ 動物が嘔吐をしたときには、吐しゃ物には大量の細菌やウイルスが含まれている可能性があるので取り扱いには十分注意する。
- ⑤ 嘔吐が長期化すると胃酸の喪失に伴う代謝性アシドーシスを引き起こす。

問題4：下痢について誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 1回当たりの糞便量が多く回数が正常であるのは小腸性の下痢である。
- ② 黄色い脂肪便がみられるのは小腸性の下痢である。
- ③ しぶりがみられ、1回当たりの糞便量が少なく回数が多いのが大腸性の下痢である。
- ④ 重度の下痢を示す動物では脱水や電解質異常に注意する。
- ⑤ 大腸性の下痢では嘔吐を伴う事があり食欲は普通または減少する。

問題5：血便について誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 黒色便（タール便）は小腸からの出血を示す。
- ② 赤色便（鮮血便）は大腸からの出血を示す。
- ③ **血便により貧血が起こっている場合程度に関わらず直ちに輸血すべきである。**
- ④ 下痢や血便は直ちに除去し、使用したリネン類は再利用せず廃棄する。
- ⑤ 血便の原因は局所的な損傷、びまん性の炎症、消化管腫瘍がある。

問題6：慢性の下痢をもつ動物に対し、看護援助する際の注意点で誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 汚れがひどいときは獣医師に許可をとり下痢の付着部位だけをシャンプーし完全に乾かすことが原則である。
- ② 肛門周囲の皮膚に水分を防ぐためのワセリンを塗った。
- ③ **食べてくれることが大切なので嗜好性の高いフードを与えた。**
- ④ 脱水を起こしている場合は輸液療法が選択されるが、定期的に脱水の状態を観察し輸液速度が適正であるかを確認する。
- ⑤ バイタルサイン、脱水の評価、粘膜の色調、浮腫、腹水の有無を確認する。

出問参考図書

動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野 臨床動物看護学 総論・各論(インターズー社)

動物看護コアテキスト 動物看護の基礎 5 (ファームプレス社)